

ホームページへの掲載	
済	3月16日 掲載

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校長 谷 基

学校住所 本巣郡北方町北方150 電話 058-324-1145

1 会議の名称 令和2年度 岐阜農林高等学校 第2回学校評議員による会議

2 会議の構成 委員 飯尾 正澄 北方町民生委員
今西 良共 国際園芸アカデミー学長
汲田美枝子 本巣市教育長職務代理者
高畑 清樹 元県立高等学校長
三村 夕子 大垣共立銀行柳津支店長

(委員名は五十音順)

学校側 谷 基 校長
吉田 勇人 教頭
桐山 明宏 教頭
高木 剛 事務部長
三輪 孝司 教諭(教務主任)
荻田 重睦 教諭(生徒指導主事)
川島 茂樹 教諭(進路指導主事)
辻 浩幸 教諭(農場長)

3 会議の目的 学校運営について、地域を代表する方や農業教育に造詣の深い方等から改善のためのご意見を幅広くいただき、地域社会からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 新型コロナウイルス感染防止のため書面開催
評価表の提出 令和3年2月8日(月)

5 会議の概要

- 自己評価の報告と今後の課題について
- 生徒、保護者学校評価アンケート結果について
- 新聞記事に見る生徒の活躍
- 評価表の提出とまとめ

評価表に記された主な意見

(1) 学校全般

- 全体的に、生徒の行動が規律正しく好感がもてる。
- 学校の教育方針に基づいた取組が生徒に理解され、コロナ禍の授業においても教職員の情熱が感じられる。
- コロナ対応で、想定外の事例に苦勞をされた教職員に敬意を表したい。
- アンケート結果から、全体的に良い指導ができています。
- 働き方改革に対応できる施設の規模と運営体制について、検討を進められるよう期待する。

(2) 学習指導

- ・基本的な知識、技術の習得により、生徒の思考力、判断力、表現力が向上している。
- ・生徒のアンケート結果から、先生方の指導方法についての満足度が高いと言える。
- ・コロナ禍でオンライン授業やタブレットを用いた授業等、ICTの活用が進んだことはよかったが、生徒が自ら学ぶ意欲を育てることが一層重要である。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き確実に進められたい。

(3) 進路指導

- ・各学年に応じた効果的な進路指導の取組により、成果が現れている。
- ・生徒が希望する進学や就職を高いレベルで達成できたのは、生徒の努力と先生方の指導が充実していたことによると思う。
- ・進路実現を高いレベルで達成することは重要な目標であり、成果が現れてよかった。1、2年次での中間評価がしっかりとできれば、さらに成果が上がるのではないかと。
- ・担任は、生徒や保護者の進路相談に適切に対応する必要があり大変だと思う。担任が1人で抱え込まないように、関係の先生方で連携して対応できるとよい。

(4) 生徒指導、教育相談

- ・多様な生徒が増える中で学校生活の規律やマナーが守られるよう、適切な指導が行われている。
- ・コロナ禍での新しい生活様式で、時間の過ごし方の指導が必要である。
- ・生徒との対話を大切にし、そこから指導に繋げてほしい。
- ・生徒の心をつかむ指導を進めてほしい。

(5) 特別活動

- ・コロナ禍により各種行事が中止される中で、生徒と教職員が創意工夫を図りながら実施できた行事は、感動がより大きかったと思う。
- ・いろいろなアイデアを出して活動することで、生徒のやる気を引き出している。
- ・コロナ禍での生徒の活躍を新聞で目にして、非常に嬉しく感じた。
- ・特別活動は、コロナ禍と働き方改革の中で一番影響を受けたと思われる。この機会に学校行事の見直しを進め、再構築されるとよい。
- ・生徒会活動では、生徒が主体となり、どんな状況下でも充実感が得られるような取組を期待する。

(6) 健康、安全

- ・生徒の健康管理には学校の支援が必要であり、コロナ禍では、健康チェックの重要性と感染防止の徹底が大切なことが教職員や生徒に再認識された。
- ・厚生部と生徒指導部が連携し、交通事故防止に努めてほしい。
- ・コロナ対策では、教員の負担が大きいが、教員と生徒が一丸となりこの難局を乗り切ってほしい。
- ・今後も、生徒の安全を第一に考えた対策を実践してほしい。

6 会議のまとめ

今回いただいたご意見を生かし、地域の皆様との連携によって生徒の活躍の場を広げ、教育活動の一層の充実を図りたい。また、コロナ禍に対して不撓不屈の精神で、生徒、教職員、保護者が一体となった活力ある学校づくりを推進し、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、進路実現を図っていききたい。